

摘 録

会 議 名 令和4年度第1回刈谷市歴史博物館協議会

日 時 令和4年5月30日（月） 午後2時00分～3時10分

場 所 歴史博物館 1階講座室

出 席 者 協議会委員：西宮秀紀（会長）、山田孝、真島聖子、田中仁、石橋保尚、深谷理恵、
成田年秀

※堀江登志実委員、近藤慎太郎委員は欠席（敬称略）

事 務 局：近藤部長、鷹羽課長、田代館長、長澤学芸員、水野学芸員

内 容

1 あいさつ

2 議題

（1）令和3年度の状況について

<アンケートについて>

（C委員）アンケート強化月間期間のアンケートの集計結果はないのか。

（事務局）【別紙2】戦時下の刈谷展が該当する期間であり、特別にその期間の集計を出していない。

（C委員）具体的な効果を知りたい。【別紙3】豊臣秀次展では意見が少ないが、この期間も強化月間をやったら色々な意見をもらったのではないのか。

（事務局）強化月間期の集計結果は後日まとめる。

（G委員）一般と学校行事の来館者と分けると良い。

（B委員）学校見学で来る中1のアンケートは取っていないのか？

（事務局）児童一人一人からは取っていない。学校の先生方からもらっている。

（B委員）事前に配布しておいて、簡単なアンケートを取ったら子供の意見をもらえるのではないのか。

（事務局）見学の時間はタイトで時間内は厳しいが、帰ってから時間を取ってアンケートに協力してもらえたらありがたい。学校と検討をしたい。

（E委員）児童はタブレットを持っているので、これを利用してやれば集計も自動でできるのではないのか。

<戦争体験の聞き取り調査について>

（B委員）戦時体験の聞き取りはしているのか。

（事務局）現在、聞き取りの手法等検討準備を進めている。今年度中には取り掛かりたい。

（B委員）夏に体験記などを募集して記録を積み重ね、それらを集めて学校で配布すると授業などでも活用されるのではないのか。

今までに集められている手記などを公開できるようにするのも必要ではないのか。

（事務局）人的にも時間的にも制約がある中で、既存のものを活かすこともやっていきたい。

<アンケート特典>

（D委員）強化期間では何を景品として配ったか。

（事務局）オリジナル缶マグネットを配布した。今年度は毎月デザインを変えて缶マグネットを配る予定である。

（D委員）デザインはどんなものか？

(事務局) 歴史博物館をモチーフとしたデザインである。

(C 委員) 刈谷市には 12 人の偉人はいないか？

(事務局) 人選が難しい。

(C 委員) 今年度の 12 人、来年度の 12 人と変えていたり、企画展ごとにデザインを変えたりすると集める楽しみも出てくるのではないか。

(G 委員) 今年度は人、来年度は市の花なども良い。

(B 委員) 刈谷八景プラス 4 など良い。

(事務局) 今後そうした歴史文化の啓発にもつながるようなデザインも考えていきたい。

< 飲食可能な場所について >

(B 委員) 【別紙 1】の自由記入欄で飲食について書かれている。豊田市の新設の博物館にはあるし、すぐにはできなくても考えた方が良いのではないか。

(G 委員) トヨタ産業技術記念館では学校見学で昼食を食べるスペースはなく会議室を使っている。新設館はそうした場所を用意している。学校行事の昼食場所を隣の体育館でも確保できるように考えてはどうか。

(事務局) 現在の公園整備事業で亀城公園も含まれており、そうした計画に盛り込めればと考えている。

< 広告について >

(A 委員) アンケート調査の結果を見て、情報取得元ではポスター、チラシの効果が大きかったことが意外だった。SNS は思いのほか少ない。若い世代はどうやって博物館に飛び込んでいくのか。

(事務局) 有料の Web 広告の出し方を美術館と検討している。

(2) 令和 4 年度の予定について

< TSUNAGU 展について >

(D 委員) TSUNAGU 展ではアンケートの回収率の内、子どもは過半数以上という目標を掲げているが、子どもをどのようにして呼び寄せる予定か。

(事務局) 展覧会とは直接関係はないが、イベントを各種用意する予定である。

< 大河ドラマ >

(B 委員) NHK 大河ドラマの「どうする家康」が来年放送されるが、刈谷は何か動きはないのか？

(事務局) 大河ドラマは制約が厳しい。刈谷市として愛知県の連携協議会に参加している。その中で刈谷市として検討。岡崎市や東浦町とタイアップしてやれたらと話はあるが、具体的にはまだない。これからの段階である。

(B 委員) TSUNAGU 展に伝通院の肖像画は出ないのか？

(事務局) 来年度に展示を考えているため、今年度は予定していない。

< 戦時下について >

(E 委員) 子供に戦争を語ることがなかなかできないので、その時期は、歴史博物館に来ると戦争について学べるという物があると良い。

(事務局) 現状、戦争についての展示等を考えてはいないが、今後検討したい。

(B 委員) 刈谷市内の戦時下の人びとの生活が分かるものを、写真でもいいので展示できると良い。また学校と協力して調べ方の指導や、紹介ができると良い。

(E 委員) 戦争体験者に話を聞くことはもう難しくなっている。

(B 委員) 今後は戦後も含めた話にしていかないと厳しい。

(A 委員) パネル展でも良いのではないかと。8月15日前後でやってもらいたい。

(F 委員) 戦時中の資料は所蔵しているのか。現物の資料があると分かりやすい。

(事務局) 資料は所蔵しているが、企画展もあるので同時進行は難しい。一度整理をしてどのようなパネルがいいか検討する。

(G 委員) 企業では戦中に女性が動員されていたが、今でも数年に1回会社が集まって懇親会をしている。トヨタ系各社に協力を依頼すると企業関連の資料があるのではないかと。それらを会社の中で保存しておくのも惜しい。会社関係の情報も共有できれば。

(事務局) 企業との連携もしていきたいと考えているので、企業資料の活用も博物館を利用してもらえたらいいと思う。

<ホームページ>

(B 委員) ホームページで常に資料収集の呼びかけなどしたらどうか。

(事務局) できると良いが、頻繁に資料調査の依頼も来るので人的要因でなかなかそこで呼びかけることは難しい。

<任期について>

(事務局) 今年の12月で任期が切れる。また次回も皆さんに引き続きお願いしたい。時期が近くなったらまた連絡をする。

<次回の協議会日程について>

(事務局) 次回は令和5年1～2月頃に開催する。